

適切なお手入れで
いつもキレイな
我が家で過ごす。

CLEANING GUIDE

清掃方法のご案内

CONTENTS

- P.1: 普段のタイルのお手入れ方法
- P.2: 玄関タイルのお手入れ方法
- P.3: 内装タイルのお手入れ方法
白華現象の対処方法
- P.4: 天然石のお手入れ方法
よくある質問



お手入れを始める前に・・・

まず、天然石かどうかご確認ください。

天然石は石種により成分が異なるため、使用する洗剤なども含めてタイルとは清掃方法が異なります。誤った方法を施した場合、石を傷める原因となり、修復作業が非常に困難です。よくお調べいただいた上で作業を行ってください。一部天然石への代表的な対処方法を「天然石のお手入れ方法 (P.4)」としてご紹介しておりますので、ご参照下さい。

**普段のタイルのお手入れは下記の方法で
お気軽におこなっていただけます。**

- メラミン系スポンジでこすり落とす
- きれいな雑巾で拭き取る

表面が粗いタイルですと、削りカスや糸くずが表面に残る場合がございますので、あらかじめ小さなスペースでお試しく下さい。上記方法で落ちない頑固な汚れには、こちらの資料内で紹介している方法をお試しく下さい。

※お掃除の際は、ゴム手袋をご着用ください。



玄関タイルのお手入れ方法

用意するもの ※すべて市販のもので結構です



ほうき



メラミンスポンジ
(モップタイプ)



バケツ



ぞうきん

ご注意

玄関で使用されているリビエラ推奨のタイルは、吸水率が0.5%以下と極端に低い磁器タイルのため、汚れがタイル内部に染み込むことはありません。しかし、靴裏のアスファルトや土成分、目地部分から染み出したアクやサビなど、様々な原因で表面の微細な穴に汚れが付着することがあります。そういった汚れは、こちらの簡単なお手入れで除去が可能です。※洗剤・薬品をご使用の際は、製品記載の注意書きをお読み下さい。

ポーチ／たたき：頑固な汚れのお手入れ



STEP.1

ほうきで表面のゴミを取る。



STEP.2

メラミンスポンジを湿らせて拭き掃除。



STEP.3

汚れたモップをすすぐ。



STEP.4

モップを絞り、全体の水気を取る。細かなところはぞうきんで拭き取る。

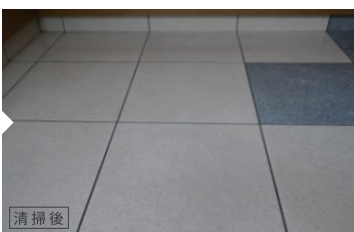


STEP.5

ほうきでメラミンスポンジの削りカスを取る。



清掃前



清掃後


STEP.6

お手入れ完了。

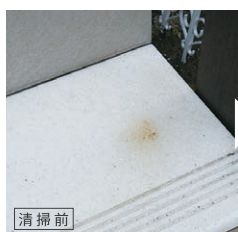
POINT		材料表示
クリーナー	メラミンフォーム	ポリウレタンフォーム、ナイロン
本体	ポリプロピレン、ABS樹脂	ステンレス鋼線

主要材料が「メラミンフォーム」と記載されていれば問題ありません。

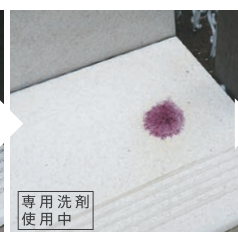
メラミンスポンジは、柄(え)がついているタイプが便利です。「玄関タイル用」に限らず「網戸用」などのハンドルタイプなど多くの種類が市販されておりますが、性能に大きな違いはありませんので使いやすいものをご利用ください。



特別なお手入れ



清掃前



専用洗剤
使用中



清掃後

もらいサビの除去

もらいサビは酸性洗剤(サンポールなど)を使用します。また、専用洗剤(有料)を使用すると簡単に除去できます。掲載写真は専用洗剤「サビクリーン」使用時。



清掃前



清掃後

花びら跡の除去

花びら跡は、デッキブラシで掃除する前に、カッターなどで削ってください。

内装タイルのお手入れ方法

用意するもの ※すべて市販のもので結構です



メラミンスポンジ



ナイロンスポンジ
(スコッチブライト)



各種お掃除洗剤

- ・中性洗剤
 - ・漂白剤
 - ・液体クレンザー
 - ・トイレ用洗剤
- など、下記用途に合った洗剤をご用意ください。

ご注意

塩素系洗剤（カビ取り剤や漂白剤）と酸性洗剤（トイレ洗剤）を混ぜると、有毒な塩素ガスがでて大変危険です。洗剤を使用する場合は、絶対にほかの洗剤と混ぜないでください。使用の際は、それぞれの製品に記載の使用方法や注意事項を遵守してください。ナイロンブラシや液体クレンザーには研磨粒子が入っている場合があります。大理石や施釉タイルを磨いたりこすったりすると、傷がつくことがあります。目立たないところで確認してからご使用ください。

部位別お手入れ

室内床	コーヒー、ジュース、動物の分泌物の汚れ	水またはお湯で拭き取ります。落ちないものはメラミンスポンジを使用してください。さらに強い汚れには、中性洗剤、液体クレンザーを使い、ナイロンブラシやスポンジでこすって洗い流してください。
キッチン壁	食用油、調味料、洗剤の飛沫	中性洗剤、場合によっては液体クレンザーを使って、ナイロンブラシでこすります。しばらく放置してから、水でよく流してください。
トイレ	アンモニア、尿石の固着	尿石の固着トイレ用洗剤、または漂白剤を使って洗い流してください。
浴室	湯垢、ぬめり、せっけんかす	浴室用中性洗剤を使い、泡が出るまでスポンジやナイロンブラシでこすります。しばらく放置して、水でよく洗い流してください。
	こびりついた汚れ	石鹸成分や脂肪分とカルシウムの化学反応による付着物ですので、液体クレンザーを布などにつけて根元よくこすり落としてください。

目地のカビ汚れ

窓を開け十分に換気できるようにしてから、カビ取り剤をかけてしばらく放置し、歯ブラシなどでこすり落としてください。

POINT

キッチンや浴室のタイルは、湿気や汚れのせいですぐにカビが生えるなど、目地の汚れが気になります。このような汚れには、掃除した後に水気をよく拭いて、ロウソクをコーティングすることで汚れにくくなります。ロウソクは溶かさず、そのまま3回程度の重ね塗り、水をはじきカビのすみつきを和らげます。お引渡し時に作業していただくと、より効果があります。*業務用コーティング剤（有料）もご用意できます。施工会社様経由でお問い合わせください。

白華現象（エフロレッセンス）の対処方法



白華現象とは、セメント硬化時の化学反応に伴って発生する水酸化カルシウムが水に溶け、タイル目地部分から染み出し、乾燥と同時に空気中の二酸化炭素と反応して不溶性の炭酸カルシウムとなり、白っぽくなることです。目地部分からふき出しているものは一般的に「鼻たれ」と呼ばれています。放置する限り、ますます汚れがひどくなります。

白華現象には、特別なお手入れが必要です

ヘラやスクレーパーで大まかに除去した後、酸性洗剤（2～3%）を塗布します。希塩酸を放置すると、酸焼けして黄色に変色しますので、除去後はすみやかに大量の水で洗い流してください。

ただし、一度発生した「鼻たれ」は、根本的に水の浸入を防がない限り容易には止まりません。専門の業者様に依頼することをおすすめ致します。

**※天然石には、酸に弱い石種が多く存在します。
天然石の白華お手入れの際は、十分ご注意ください。**

天然石のお手入れ方法

用意するもの ※すべて市販のもので結構です



ほうき



ダスタークロス



モップ



中性洗剤

必ず薄めて
ご使用ください

通常のお手入れ

御影石	御影石には、生成の過程で生じる細孔（さいこう）と呼ばれる細い穴があります。この細孔から水が媒体になった汚れが入り込み、シミとなっていきます。表面の仕上げによってお手入れ方法が異なります。	
	本磨き	チリ、土砂はダスタークロスなどで表面のチリを取り除きます。ダスタークロスは、油のついたものは避けてください。軽度の汚れには、水をかたく絞った雑巾、またはモップで拭きあげます。水拭きでとれない軽度な汚れは、中性洗剤やアルカリ性洗剤を薄め、ウエスなどに含ませ拭き掃除をしてください。その際、必ず目立たないところで石材に問題がないかテストしてから実際の作業をおこなってください。水拭きをして、最後に乾いたウエスで乾拭きをしてください。
	バーナー	チリ、土砂はほうきで除去します。軽度の汚れには、水をかたく絞ったモップで拭きあげます。水拭きで拭き取れない軽度な汚れは、中性洗剤やアルカリ性洗剤を薄め、ブラシなどでこすり洗いをします。その後、よくすすぎ洗いをおこない薬品を取り除きます。
大理石	大理石は御影石に比べ成分的・硬度的にも非常にデリケートでもろいため、光沢の落ちが早い特徴があります。御影石と同様、大理石にも細孔があり、この細孔から水が媒体になった汚れが入り込み、シミとなっていきます。	
	本磨き	チリ、土砂はダスタークロスなどで表面のチリを取り除きます。ダスタークロスは、油のついたものは避けてください。軽度の汚れには、水をかたく絞った雑巾、またはモップで拭きあげます。水拭きでとれない軽度な汚れは、中性洗剤やアルカリ性洗剤を薄め、ウエスなどに含ませ拭き掃除をしてください。その際、必ず目立たないところで石材に問題がないかテストしてから実際の作業をおこなってください。水拭きをして、最後に乾いたウエスで乾拭きをしてください。

<天然石の「汚れ」>

上記でご案内した御影石、大理石は建築建材として幅広く使われておりますが、その他にもライムストーン（石灰石）や石英石などがあります。天然石材は、石が本来持ち合わせる風合いを楽しむものでもありますので、納品時の形状を無理に保つよりも、あえて自然の汚れを吸収することにより、永い時間をかけた世界にひとつだけの美しい模様ができあがります。変化を受け入れることも、天然石のお手入れのひとつです。

よくある質問

Q.1: どのくらいの頻度で掃除をすればいいですか？

一般家庭（店舗併用住宅を除く）の日常のお手入れとして、以下の頻度を推奨しています。

玄関タイル	・ 汚れを感じた際に、掃き掃除や水洗いを定期的におこなってください。 ・ P.2で紹介しているようなお手入れは、普段のお手入れでも汚れが残る場合や、大掃除など年に数回程度おこなっていただければ、より永くきれいに保てます。
内装タイル	・ ガンコな汚れになる前に、早めにお手入れすることをおすすめします。

Q.2: 通常の清掃方法で落ちない汚れはどうすればよいですか？

まず、アフターサービス担当者へご相談ください。不用意に様々な方法を施されると、タイルなどを傷つけることとなります。薬品などで傷んだタイルや天然石は修復が困難なため、最悪の場合、再度施工をおこなう必要がでてきます。特に、天然石の取り扱いには十分にご注意ください。

Q.3: ワックスはかけた方がいいですか？

タイルへのワックスがけは、特別な事情がない限り、避けるようおすすめします。ワックスの種類にもよりますが、剥がれが生じた際に目立ちやすく、タイルそのものの表情がそなわれるため、不要なワックス施工はおすすめしていません。

また、タイル箇所以外（フローリングなど）へのワックスがけをする際には、タイル、天然石部分にかからないようご注意ください。特に天然石にかかると、吸水性が高いためシミになってしまう場合がございます。